

学校評価は、経営計画や教育計画に基づいて行われる教育活動がどの程度機能しているのかを評価するためにを行います。その結果から、学校が抱えている課題を明らかにし、学校改善を進め、生徒をよりよく育成するとともに、学校の経営責任・説明責任を果たすためのものです。

学校評価には「自己評価」と「学校関係者評価」があります。「自己評価」は、教職員がアンケート（生徒・保護者・教員を対象に行うアンケート）などの結果を基に行います。「学校関係者評価」は、学校関係者（地域住民やPTA 学級委員）が自己評価の評価項目の内容、評価基準、評価結果等について、総合的に評価するものです。

静岡大学大学院教授であった山崎保寿先生のご指導を受け、経年変化を改革に活かすため、平成27年度からは項目・基準をほぼ同じにして実施してきましたが、令和2年度は、より指導改善につながる形を模索するため質問項目、評価の仕方を大きく変更し次のように致しました。

1. 「自己評価」の回答基準、評価基準は以下のとおりです。

・アンケートの回答は5段階 「よくできた:5 ～ できなかった:1」

で行い、その平均値をもって評価ポイントとする

2. 保護者アンケート項目は、8つの指導項目についてそれぞれ具体的なアンケート項目について、自己評価と同じ5段階で評価していただきました。

3. 学校関係者評価委員会は年間3回実施し、自己評価について評価・助言をいただきました。自己評価と同じ5段階で評価していただき、その平均値をもって評価ポイントといたしました。

その主な内容を下記にまとめました。（詳細な数値は次頁）

領域	評価項目	自己評価	学校関係者評価（評価）
生徒指導	生徒育成 規律・品位	指導に対する一定の効果が現れた。さらに品位あるレベルを目指し、生徒の自発性・自治力を高める指導をしていく。	生徒自身が必要性を考え実践するように促す取り組みが必要と考える（4.21）
	安全教育 安全教育・健康	防災訓練・不審者対策に加えコロナ対応・生徒の心のケアにも注力した。	引き続き意識の高い指導を維持して欲しい。（4.07）
人間性の育成	人間関係づくり 社会性	教員が連携し保護者と共に早期発見・早期解決を図っている。生徒も姉妹ピア活動により人間関係力を育てている。	友人関係などの問題への早期発見・早期解決に向けた努力を今後も期待する。（4.21）
	主体性の育成 公共心・学校行事・部活動	部活動は新たな取り組みにより、生徒の成長や帰属意識の向上につながった。校内美化では生徒よりも教員の評価がやや低く、改善を目指す。	教員と生徒の評価の差があり、要因を考察することが大切と思う。（3.93）
学習と進路	意欲向上 内発的動機・国際教育	海外研修再開をし、生徒の成長につなげることができた。6年間を通した国際教育の流れをより確実なものにしていく。	教員評価が低い項目について、その具体的理由がきちんと分析されていない。（4.29）
	学力向上 教科指導・学力向上・進学実績	基礎学力のさらなる定着が必要と考え、従来の指導に加え、授業の目標を明確化し、生徒に向上への意欲を持たせた。	毎年生徒の学力は変わるので、変化量や達成度を評価してはどうか。（4.14）
	指導力向上 教科課程・教員研修・ICT教育	ICT 端末の活用は教員研修も行い当たり前になってきているが、授業中の活用をさらに進めたい。	教員は ICT の活用は当たり前という認識だが、生徒の評価は低く、温度差を感じる。（4.07）
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携 生徒育成・活動理解・広報	様々な場面で生徒の様子や学校の活動紹介を実施してきた。さらに内容や時期について整備をしていく。新たなイベントで地域に向けてアピールすることもできた。	保護者との連携は出来ている。西遠の魅力をもっと地域にアピールしなければもったいない。（3.86）

令和4年度 学校評価		建学の精神	婦人の中に未来の人は眠れり			
		校訓	典雅 莊重（強く 正しく 美しく）			
		教育目標	未来を拓く女性の育成			
領域	目 標	評 価 項 目	達 成 目 標	自己評価（5段階）		関係者 評価 (5段階)
				R3年度	R4年度	
生徒指導	Ⅰ 生徒育成	(1)規律	①【教員の判断】規則・時間を守り規律ある集団生活をおくる指導	4.19	4.19	4.21
			②【生徒の判断】規則・時間を守り、規律ある集団生活をおくる	4.29	4.38	
		(2)品位	①【教員の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣いの指導	3.72	4.03	
			②【生徒の判断】正しい服装・身だしなみ・言葉遣い	4.26	4.39	
			①【教員の判断】適切な挨拶の指導	3.67	3.92	
			②【生徒の判断】相手や状況に応じた、適切な挨拶	4.20	4.27	
	Ⅱ 安全教育	(3)安全教育	①【教員の判断】安全・防災の意識の向上指導	3.83	4.00	4.07
			②【生徒の判断】非常時取る行動の理解	4.03	4.10	
		(4)健康	①【教員の判断】健康を向上するための連携した指導	4.00	4.00	
人間性の 育成	Ⅲ 人間関係 づくり	(1)社会性	①【教員の判断】人間関係把握・適切な対処	4.19	4.17	4.21
			②【生徒の判断】互いに高め合い、前向きな問題解決	4.18	4.23	
			①【教員の判断】リーダーシップとフォローシップの育成	4.11	4.11	
			②【生徒の判断】姉妹ピア活動への積極的な参加	4.25	4.31	
	Ⅳ 主体性の 育成	(2)公共心	①【教員の判断】姉妹掃除を含む校内美化の指導	4.00	3.94	3.93
			②【生徒の判断】校内美化を意識した掃除への取り組み	4.49	4.49	
		(3)学校行事	①【教員の判断】行事を通して21世紀型スキルを身に付させる指導	3.86	3.86	
			②【生徒の判断】行事を通した主体的な取り組みと成長	4.17	4.30	
		(4)部活動	①【教員の判断】部活動の目標を設定と適切な運営・指導	3.72	4.08	
			②【生徒の判断】部活動への目標をもった取り組み・成長	4.30	4.28	
学習と 進路	Ⅴ 意欲向上	(1)意欲向上・ 内発的動機	①【教員の判断】将来を見据えた進路の研究と指導	3.89	3.78	4.29
			②【生徒の判断】自分の将来や進路について考える	4.16	4.17	
		(2)国際教育	①【教員の判断】国際社会への関心を持たせる働きかけ	4.17	4.03	4.14
			②【生徒の判断】将来留学してみたい	3.29	3.30	
	Ⅵ 学力向上	(3)教科指導	①【教員の判断】基礎学力を向上させる指導	3.44	3.67	
			②【生徒のデータ】学力診断合格率	2	3	
		(4)学力向上	①【教員の判断】学習意欲をもたせる指導	3.42	3.56	
			②【生徒のデータ】GTZ:B2以上の生徒の割合	3	2	
		(5)進学実績	①【教員の判断】数値目標を見据えた学習指導	3.56	3.75	
			②【生徒のデータ】GTZ:A以上の生徒の割合	3	2	
	Ⅶ 指導力向上	(6)教科課程	①【教員の判断】教科課程の振り返り・見直し・実践	3.67	3.94	4.07
		(7)教員研修	②【教員の判断】研修を通した指導力の向上	3.44	3.67	
		(8)ICT教育	①【教員の判断】ICT機器を活用した効率化した学習指導	3.86	3.97	
			②【生徒の判断】ICT機器の利用による理解の深まり	3.61	3.61	
保護 者の 連 携・ 地 域 と	Ⅷ 保護者・ 地域連携	(1)生徒育成	①【教員の判断】生徒の成長のための保護者と学校の連携	3.83	3.86	3.86
			②【保護者の判断】学校と連携した教育への取り組み	3.94	3.89	
		(2)活動理解	①【教員の判断】保護者に教育活動を伝える取り組み	3.69	3.92	
			②【保護者の判断】学校・学年・クラスの教育活動理解	4.00	3.97	
		(3)地域連携	①【教員の判断】地域に、学校や生徒の取り組みを理解	3.08	3.56	